

平成29年度指定管理者制度活用事業 評価シート(子ども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	川崎区第1グループ(旭町・日進町・渡田)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	子ども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H28		H29		H28		H29	
	1 旭町子ども文化センター ①年間延べ利用者数	35,315人	33,503人	②年間延べ利用団体数	959団体	941団体		
2 旭町小学校わくわくプラザ ①登録者数	235人	239人	②年間延べ利用者数	16,869人	16,527人			
3 宮前小学校わくわくプラザ ①登録者数	389人	348人	②年間延べ利用者数	24,990人	24,609人			
1 日進町子ども文化センター ①年間延べ利用者数	27,336人	29,424人	②年間延べ利用団体数	258団体	330団体			
2 川崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	316人	311人	②年間延べ利用者数	23,611人	25,668人			
3 京町小学校わくわくプラザ ①登録者数	155人	156人	②年間延べ利用者数	9,270人	9,780人			
1 渡田子ども文化センター ①年間延べ利用者数	23,334人	21,340人	②年間延べ利用団体数	146団体	149団体			
2 田島小学校わくわくプラザ ①登録者数	148人	162人	②年間延べ利用者数	9,211人	9,859人			
3 向小学校わくわくプラザ ①登録者数	194人	178人	②年間延べ利用者数	12,535人	11,767人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 157,220,145 2 支出 人件費 126,954,332 管理費 10,340,080 事務経費 7,003,948 その他経費 9,050,885 合計 153,349,245 3 差引 3,870,900							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「子ども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、子ども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・日進町子ども文化センターでは、「ちいキッズ役立ちたい&ボランティアクラブ」が、地域と連携を図りながら、「地域美化活動フラワーロード大作戦」等の地域貢献活動を実施し、子どもたちのボランティア意識高揚に繋がった。 ・渡田子ども文化センターでは、今年度新たに「夏のお楽しみ会」を実施し、238名が参加した。子ども運営会議の意見を反映し、誰でも参加できる行事として企画し、近隣の障害者施設の利用者をはじめ、地域の幼児から大人まで様々な世代が昔遊びやカップリング等に参加したことで、世代間交流が促進された。 ・京町小学校わくわくプラザでは、交通量が多い国道を渡らなければいけない等の道路事情から、日進町子ども文化センターへ行ったことがない児童が多かったため、校外活動として「日進町こ文へでかけよう！」を年3回実施し、行き帰りに集団での移動を経験するとともに、子ども文化センターの魅力伝えることができた。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「子ども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについては、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努め、施設利用ルールの改定や購入図書の設定のほか、要望の多い事業を増やしたり、保護者が参加しやすい時間帯に事業を実施する等、運営に反映させている。 ・学校及び行政機関との連携については、渡田子ども文化センターにおいて、今年度新たに、幸病院と連携し、幼児親子や高齢者等を対象に講座を開催するほか、渡田地区の子ども会や地域振興課との共催事業に子ども文化センターとして参加するなど、地域との交流を深めた。 ・施設・事業の広報については、小学生向けだけでなく、乳幼児親子向けや中高生向けより定期的に発行し、近隣の幼稚園や学校に配布するなどの工夫を行い、対象年齢を捉えた効果的な広報を行っている。さらに、ホームページやかわさきアプリを活用するなど様々な媒体を組み合わせた積極的な広報を行っている。 ・運営協議会の実施について、運営協議会が設置され、「事業計画」どおりに開催されている。 ・保護者懇談会について、懇談会が「事業計画」どおりに開催されている。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8	
	職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。				
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置がされている。 ・職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来ている。特に、グループ研修として、野外活動研修を実施し、火おこしやレクリエーション等を学び、グループ合同行事である「3館GODOデイキャンプ2017」の実施に活かされた。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実は無かった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に旭町こども文化センターでは、既存の下足入れに工夫することで収納数を増やし、不足に対応する等、環境改善に取り組んでいる。 ・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、グループ研修として、看護師を講師に招き、怪我研修を実施するなど、職員の意識づけが図られている。また、「怪我ノート」により事故の発生状況や条件を職員間で共有している。 ・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。特に、日進町こども文化センターでは、町内会とのつながりから区総合防災訓練に参加するなど、共助・互助の取組を積極的に進めるとともに、地域団体や警察等との連携を図りながら防犯・防災対策に積極的な行動をしている。さらに、旭町こども文化センターでは、施設見学において屋上を見学してもらい、津波避難施設であることを地域の方に発信するとともに、休館日等に災害が発生した場合に備えて、町内会に施設の鍵を預けるなど地域と連携した積極的な防災対策を行っている。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業も行い、豊富な行事を行った。ちいキッズ役立ち隊やボランティアクラブでの活動のほか、地域の医療機関、区役所等と連携して事業を実施する等、地域に根差した事業を行っている。また、各種研修に参加し、職員の資質向上に努め、良質なサービスを提供している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員との顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。